

北陸発！ 明日への挑戦



中小企業基盤整備機構（中小機構）では、地域を元気にする各種支援事業を展開しています。毎月第4火曜日のこのコーナーで、中小機構の各事業の内容や事例について取り上げいきます。

地域力連携拠点を活用 拠点19箇所と連携して、経営課題の解決を 進めませんか。

この「地域力連携拠点」というのは、国からの受託で、2年前から全国に

していただきました。そこで最終相談したところ、中小機構北陸支部から全国規模のネットワークを活かしたところ、経営革新支援を勧められ、申請事業計画の策定支援を受けて、県知事承認を得ることができました。支援措置でも併せてお薦めしている「中小機構からは「専門家継続派遣事業」の活用も併せてお薦めしているところ。また、高い技術力を特徴に金型製造で幅広い取引先を持っていたB社は、受注の減少と高コストによる財務基盤の脆弱化という問題を抱えていました。そこで県が運営する経営支援センターの「地域力連携拠点」に相談したところ、自社技術の強みを生かした経営基盤の建て直しのために、専門家派遣を活用したとのこと。更に、北陸出身であるCさんは、地元で新たな小売業を立ち上げようと

隠れた資源を発掘

このような個別企業支援のほかに、「地域力連携拠点」の特徴の一つが連携の支援です。食品加工企業と農業者を結び付けて、新たな新商品開発と販路開拓をバックアップします。更に、地域のさまざまな隠れた資源を発掘し、地域活性化を進める企業の方々を、準備段階から支援します。経営者の皆さん、厳しい経営環境の中で一人で悩むのではなく、相談先として「地域力連携拠点」をぜひ活用ください。お待ちしております。

経営課題の解決を支援

300箇所以上で展開している支援拠点のことで、経営課題解決に向けて、全国的なネットワークを活用してワンストップでサービスを受けられる。

新規事業や問題を相談

中小企業基盤整備機構（中小機構）北陸支部では、北陸3県（石川、富山、福井）の「地域力連携

新分野進出のためある生産方法を独自に考案し、大型設備投資を計画している。克服が困難であったた専門家を紹介してほしいと「地域力連携拠点」



地域力連携拠点での相談の様子

お問い合わせは中小機構北陸支部 経営支援部（076-2233-5546）まで。

Cさんは、地元で新たな小売業を立ち上げようと

（中小機構北陸支部統括プロジェクトマネージャー・増森正樹）

●次回掲載 12月22日（火）予定

広告